

令和5年度 第1回学校運営協議会 報告書

1 日時 令和5年度5月8日(月) 13:40～15:15

2 場所 会議室

3 出席者

【学校運営協議会委員】

佐々木剛、岩渕雅明、佐々木章、佐藤幸一、佐々木修、山下欽也、熊谷浩、松永充信、
金澤辰則、鈴木悠太、前川優

【協議会事務局】

皆川和範、藤井聡、阿部恵子、高橋栄一、板屋信良、坂本千尋、田村憲介、小野岳登

4 会議次第

1 開会の言葉

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 自己紹介

5 議長選出

6 令和5年度学校運営計画について

7 学校概況説明

- ・教務課（出願状況、教育課程、スクールポリシー）
- ・生徒指導課（大会成績、部活動再編、制服、魅力化）
- ・進路指導課（指導と卒業後の進路状況）
- ・総務課（周年事業、PTA、同窓会活動）

8 協議

(1)KIZUKI 他、主な活動について

(2)令和6年度以降の入学生確保について

(3)副会長選出について

9 意見交換・質疑応答

10 その他

11 閉会のことば

5 会議概要

(1) 令和5年度学校運営計画について

- ・スクールポリシーを明記することになった。どのポリシーにも「地域に支えられ、地域を支える」学校という言葉が入っている。
- ・重点目標に5つの柱を立てた。アは興味・関心を引き立てる授業を行う。イはK I Z U K Iプロジェクトを利用して開かれた学校づくり及び高校魅力化の推進を行う。ウは少人数であることを生かしきめ細かい指導をしていく。エは学校全体でいじめは絶対許されないことと認識して未然防止を図る。オはKIZUKIプロジェクトと絡めていきたい。

(2) 学校概要説明

【教務課】

- ・出願状況は資料の通り。一名が入学辞退。令和6年度も40名前後を維持できるかが課題。K I Z U K Iプロジェクトを全面に出していきたい。
- ・3年生は旧学習指導要領、1・2年は新学習指導要領の教育課程である。

【生徒指導課】

- ・昨年度、陸上とボクシングで東北大会に出場。総合文化部で本格的に演劇を行った。郷土芸能同好会が全国大会に出場した。
- ・来年度から制服を改定予定。
- ・後期の生徒総会で部活動再編のルールを決めていきたい。地域の方々とも意見を聞きたい。

【進路指導課】

- ・国公立大学に5名合格。就職希望者は減少傾向。進学希望者が増加してきた。

【総務課】

- ・今年度80周年記念事業がある。町民会館で記念式典が行われる。記念講演は12月に秋田豊氏を予定。

(3) 協議

ア KIZUKI 他、主な活動について

- ・総探の時間（K I Z U K Iプロジェクト）に力を入れている。三年間で発展的になるように取り組んでいる。一年生は地域、二年生はインターシップから自分の進路をテーマにしている。中学生を対象にディベートやプレゼンを行った。
- ・10月復興教育を行っている。今年度の三年生は防災士の資格を取らせる予定。
- ・地域と高校生をより絡ませていきたい。
- ・本年度は復興教育として地域復興支援郷土芸能フェスを行う。地域の皆様にお越しいただき、地域おこしに貢献したい。

イ 令和6年度以降の入学生の確保について

・今年41名の欠員が生じている。来年も41名の志願者がいなければ、今後は学級減の可能性はある。学校の魅力を発信して学級減を防ぎたい。

意見：商店街だけでなく、高校生や多くの企業の意見も聞きたい。

意見：田野畑地区ではコロナの間に宮古地区への進学が増えた。

意見：教育委員会としても管内の中学校を回り、岩泉高校に入学をしてもらえるように説明している。保護者に理解してもらうことが大事である。

質問：K I Z U K I の情報は届いているか？

→活動している人は知っているが、保護者以外はわからないかもしれない。

質問：現実問題として、どうしたらよいかわからない。進学を希望している生徒が選んでくれるようにしていったほうが良い。実績が弱い気がする。どう思いますか？

→昨年度の国公立進学者数は母数が少ないため少人数であるが、合格率で言えばかなり高い。授業では色々な工夫をしている教員が多い。